



週報

Rotary
東京本郷ロータリークラブ 

2021-2022 年度 国際ロータリーテーマ 「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」
東京本郷ロータリークラブテーマ「安心・革新・前進」(3つのしん)

創立/平成3年3月13日(1991年)

事務局/〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-9-6-905 電話:03-3238-5350 FAX:03-3238-5352

インターネットホームページ:<http://www.t-hongo-rc.gr.jp> E-mail:office@t-hongo-rc.gr.jp

例会:毎週水曜日12時30分 例会場:ホテルメトロポリタンエドモント 電話:03-3237-1111

〒102-8130 東京都千代田区飯田橋3-10-8

会長:熊井 寛 副会長:井田吉則 会長エレクト:廣瀬英昭 幹事:星野大記 会報委員長:中西文太

第1421回例会

2022年6月22日発行(No.1366)

本日の卓話(6月22日)

「子ども食堂の役割と課題
～NPO法人みなと子ども食堂の活動を通して～」

福崎法律事務所 弁護士 福崎 聖子 様

紹介者 山路敏之会員

次回の例会(6月29日)

最終夜間例会

点鐘:18:00～

於:ホテルメトロポリタンエドモント
2F「万里」

6月15日 第1420回例会報告

卓話

「大道芸に生きて40年」

大道芸能家 源 吾朗 様

紹介者 松岡 浩会員



卓話をされる源 吾朗様

会長報告

- 3月26日に開催しました北分区献血会が、「ロータリーの友」7月号に掲載されるそうです。是非、ご覧ください。
- 廣瀬会長年度の地区大会について、お知らせいたします。
当初3日間での開催予定でしたが、2日間とし、9月9日(金)～10(土)に行われます。
会場が
1日目:9月9日(金)セルリアンタワー東急ホテル
2日目:9月10日(土)グランドプリンスホテル新高輪
メールボックスにチラシ第1号を配布いたしましたので、先ずはご予約をお願いします。
- 最後に本日は多くの表彰者を発表いたします。



第23回 米山功労者表彰
清水卓治会員

マルチプル・ポール・ハリスフェロー表彰
長久保スミ子会員



第2回 マルチプル・ポール・ハリスフェロー表彰
星野大記会員

持ち回り理事会報告

市倉 泰会員より、退会届けが提出され6月末日での退会が承認された。

星野会員はポールハリスソサエティでもあります。皆さんのご寄付に感謝いたします。

幹事報告

1. 6月のロータリーレートは1ドル=127円です。
2. 明日16日(木)新旧北分区分会幹事が開催され、熊井会長、廣瀬会長エレクト、三浦次年度幹事、星野で出席します。
3. 来週22日例会後に「復活！新世代会議」と称し、東洋大学 森田教授をお招きし、ディスカッションを行います。
終了予定は15:30ですが、是非、ご参加をお願い致します。

出席

会員数：50名 出席数：32名 欠席数：6名
出席免除者数：4名 特別措置出席免除者数：8名
出席率：84.21%

5月25日修正後出席率：82.93%

クラブゲスト：源 吾朗様(卓話講師)
長與博典様(北分区分会ガバナー補佐)
志熊昌宏様(北分区分会幹事)

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

ニコニコBOX

- * 長與博典様(北分区分会ガバナー補佐)
志熊昌宏様(北分区分会幹事)
一年間、たいへんお世話になりました。
- * 本郷 滋会員、小出 豊会員、秋本康彦会員
長與さん志熊さん1年間お疲れ様でした。志熊さん来期会長としてご苦労様です。

* 星野大記会員

ヒューストン国際大会、世界からたくさんのロータリアンが集まり、とても楽しく刺激的でした。来年は地区の国際奉仕委員を務めますので、皆様メルボルンに一緒に行きましょう！

* 市河久和会員

委員会報告のとおり、あじさい祭りバザーを大成功で終わることができました。学生たちとの共同作業や意見交換はとても楽しかったです。ロータリーの醍醐味を、また実感させていただきました。

* あじさいまつり有志一同

あじさいまつり大成功でしたね。おつかれ様でした。

* 澤部利藏会員

「あじさいまつり」ありがとうございました。来週は「新世代会議」よろしく、お願いします。

* 山路敏之会員

イタリアで結婚記念日を祝い、孫娘とたくさん遊んでもらい、無事帰国しました。お祝いありがとうございます。あじさい祭り良かったですね。

ニコニコBOX	30,200円
累計	879,170円

本日の例会にて、

ロータリー財団寄付	0名	0円
米山特別寄付	2名	20,000円

のご寄付をいただきました。
ありがとうございました。

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

文京あじさい祭りバザー報告書

日時 2022年6月12日(日) 9時から16時30分
場所 白山神社駐車場

社会・青少年奉仕委員会
委員長 澤部 利藏
副委員長 市河 久和
委員 加藤 利雄
委員 松岡 浩

1. 目標と取組

公共イメージ向上とロータリー希望の風奨学金への寄付金獲得を目標として、以下の通り取り組みました。

公共イメージ向上

- ◇東洋大学の社会貢献センターと連携し、ボランティアの学生と協働しました。
 - ・60名弱の応募があり、その中から同センターにて20名を選抜していただきました。
 - ・同センターとの協議や、学生への事前の説明会をそれぞれ複数回開催しました。
- 協議や説明会では、当方から冊子を活用してロータリーについての説明をし、計画書【別紙資料参照】をもとに説明しました。
- 説明会では、同センターがパワポを作り、説明(クイ



ズ)をしてくれました。

- ・当日学生は19名中18名が参加しました。欠席理由は体調不良で、翌日フォローしました。
- ・当日班(後述)ごとに、休憩所(市河会員の店舗)において、ボランティア活動や今後のロータリーとの協力関係構築などについて、意見交換を行いました。
- ・バザー終了後、学生代表と反省会(16:30~17:30 浦水会館)を行いました。
- ◇あじさいまつり実行委員会と連携しました。
 - ・準備段階から複数回行われた委員会に参加しました(過去には行っていなかった)。
 - ・丸一日現地で活動しました(これまでは午前中のみであった)。
- ◇その他
 - ・クラブSNSや地区SNSで、告知を行いました。
 - ・前年度の公共イメージ向上委員会が、当クラブの活動



等を告知した先に、実施予告と実施報告を配信しました。

- ・ガバナー事務所から、献血活動用ノベルティ（アルコール除菌ペン型スプレー 200本）を購入し、学生と各回のバザー購入者先着40人に配布しました。
- ・バザー案内チラシ【別紙資料参照】を作成（240枚）して当日配布しました。
- チラシの裏面に、ロータリー、当クラブ、ロータリー希望の風奨学金、東洋大学社会貢献センターの説明文を記しました。
- ・バザーテントに当クラブののぼりを掲出しました。

ロータリー希望の風奨学金寄付金獲得

売上額は約24万円、利益は約17万円でした【別紙資料参照】。

2. 当日の動き

以下の理由により、バザーを4回（11:00～、12:20～、13:40～、15:00～）に分けて開催しました。

- ①全学生に公平に体験させるため
4班編成にし、各班に班長（ロータリアン）とリーダー（学生）を決めました。
4セクション（店頭、周辺、意見交換ミーティング、自由行動）を時間帯でローテーションしました。
- ②密対策のため
開始時は入口と出口を分けてワンウェイとし、入場制限を行いました。人の出入りを見ながら途中から解除しました。

14時ごろ、一時降雨があり、入場者が退けた時間帯がありました。

次のタイミングで値引きを開始しました。

- 14時40分 2つで同価格
- 15時10分 半額
- 15時40分頃に完売しました。

関与した会員数は次の通りでした。

- 実行メンバー 5名（社会・青少年奉仕委員+有志）
- 協賛品提供者 16名
- 当日長時間助力者 4名
- 当日来場・購入者 約5～10名
- メーカー数 15名
- ※理事会決定により、当日来場者はメーカーの対象となりました。

次の外部の皆様にご協力いただきました。

- あじさいまつり実行委員会（委員長 秋本会員）
- 森田明美先生
（本年3月まで東洋大学教授、同大学社会貢献センター長）
- 社会貢献センター エクステンション課の皆様
- 毎回お手伝いいただいている外部の皆様5名
- 東京音楽大学 クラブピアノ伴奏者 矢田真央さん
（6月11日 搬入・値付け作業）

3. 課題

次回以降の課題として、次の点を特記いたします。

販売品関係について

- ・時間帯別に同種のもものが集中しないよう振り分けるため、早めに締め切って内訳を掌握（但し締め切り後の対応は必要）する。
- ・最初の販売開始時は、来店客が多いので、陳列商品のボリュームを厚くした方が良い。
※事前告知は11時の1回だけであったことが影響した可能性はある。
- ・販売価格を決めるため、協賛品の定価・実売価格・希望価格の全部又は少なくとも一つを申告していただく【別紙資料参照】。
- ・売上目標を立てて取り組むことが望ましい。
- ・高額品は扱いが難しい。

学生協働

森田先生は、「良い大人に触れさせることが青少年の健全育成につながる」とのご見解をお持ちで、その良い機会と捉えておられました。
学生は我々を大人として見ているので、約束を守る、要請に応える、など誠実で襟度ある行動が求められます。

実行委員会との連携

バザーの主旨をご理解いただき、公式チラシ等【別紙資料参照】に記載していただくことが望ましいです。

4. 総括

各目標に対して、それぞれ大きな成果があったと自己評価して良いと思います。

特に東洋大学については、森田先生との出会いから今回の協働の試みに進展しましたが、確かな手ごたえが感じられました。同センターとの信頼関係が深まり、次につながる事が大いに期待できます。

同センターが終了後に学生たちに求めたアンケート【別紙資料参照】では、学生たちがとても満足していたことがうかがわれます（最高評価8割超）。会場内での作業はもとより、休憩所でのミーティングを評価する声も多かったです。

あじさいまつり実行委員会から、学生の弁当とTシャツが無償提供されるなど、委員会の方々のロータリーに対する認識にも変化があったと思われます。

今回は前述のように、コロナ対策や、東洋大学との連携と学生たちとの協働、実行委員会との準備段階からの調整など、初めての試みが多々ありましたが、総じて良い結果につながられたと思います。

関わっていただいた全ての皆様に感謝申し上げます。また準備段階から当日まで一緒に活動した皆さん、大成功おめでとうございました。

地域のための継続的奉仕活動として、次年度以降も続けていきたいと思います。

以上

※別紙資料については、クラブ事務局へお問い合わせください。

